

～下記の研究を行います～

『大阪府における被ばく医療人材育成 e ラーニングの実践』

【研究責任者】 下野圭一郎

【研究の目的】 本研究の目的は、大阪府における被ばく医療人材育成の一環として、原子力災害医療基礎研修の地域独自枠を活用し、「放射性物質汚染への対応」と「COVID-19 対応」との類似点・相違点を軸とした e ラーニング教材を開発・実践し、その受講状況および受講後アンケート結果を通じて、以下の点を明らかにすることである。

1. 感染症対応の既存経験を被ばく医療へと橋渡しする教育コンテンツが、被ばく医療に対する心理的ハードルや理解度に与える影響
2. 医療・行政・消防など多職種・多機関を対象とした e ラーニングによる人材育成の実現可能性
3. 被ばく医療体制構築に向けた教育上および連携上の課題

【研究の期間】 研究許可日～2026 年 7 月 18 日

【研究の方法】 令和 7 年度大阪府原子力災害医療基礎研修受講完了者のアンケート結果をもとに、「研究の目的」に記した項目について検討する。

●対象となる方

令和 7 年度大阪府原子力災害医療基礎研修を受講完了された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：令和 7 年度大阪府原子力災害医療基礎研修のアンケート結果から以下の情報を収集します。

・放射性物質により汚染された患者に対する対応手順について、具体的な流れをイメージできるようになったか。

・COVID-19 パンデミック時(コロナ禍)の対応は、被ばく医療における対応に活かせると思うか。

被ばく医療において、自身の職種が果たす役割や関わり方について、どの程度理解できたか。
等

【情報等収集開始日】 2026 年 5 月 25 日

【情報等の管理責任者の氏名】 国立病院機構大阪医療センター院長 松村泰志

【研究の資金源】 なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他のアンケートに回答された方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、アンケートに回答された方もしくはアンケートに回答された方の代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、情報等収集開始予定日以降でも下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、アンケートに回答された方に不利益が生じることはありません。
- ◎情報等の当該研究利用の停止についてご連絡いただいた場合、それまでに収集した情報等は使用いたしません。あなたの情報等のみを取り除くことができない場合（既に研究の結果が公表されている場合等）は使用させていただき、廃棄できない可能性があることをご了承ください。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 ER・救命救急科 医師 下野圭一郎